

# 令和2年度 看護職の定着確保動向調査結果の概要 — 求職者対象 —

## 1.調査概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職
調査時期	令和2年9月16日 ~ 令和2年9月30日
調査方法	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収
回収状況	配布数 : 282 名 回収数 : 75 名 回答率 : 26.6%

## 2.調査結果

### 問1 ブランク期間

ブランク期間は、「0～3年」74.7%が最も多く、次いで「11年以上」10.7%、「6～10年」9.3%、「4～5年」2.7%の順であった。

<表1> ブランク期間 (n=75)

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
56	2	7	8	2
74.7%	2.7%	9.3%	10.7%	2.6%

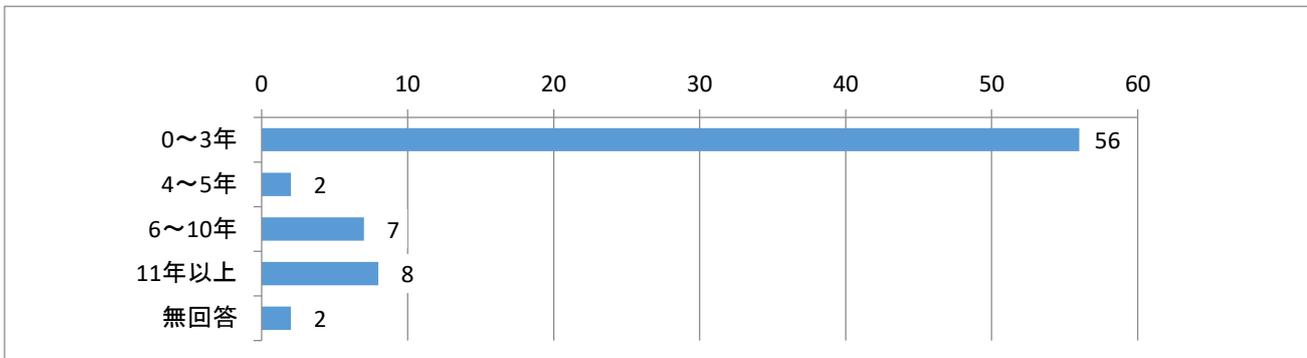


図1 ブランク期間

### 問2 住所

居住地区は、「千葉地区」24.0%が最も多く、次いで「船橋地区」18.7%、「市川地区」13.3%の順であった。

<表2> 住所 (n=75)

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛
18	2	14	10	8	7
24.0%	2.7%	18.7%	13.3%	10.7%	9.3%

印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
4	2	3	2	4	1	0	0
5.3%	2.7%	4.0%	2.7%	5.3%	1.3%	0.0%	0.0%

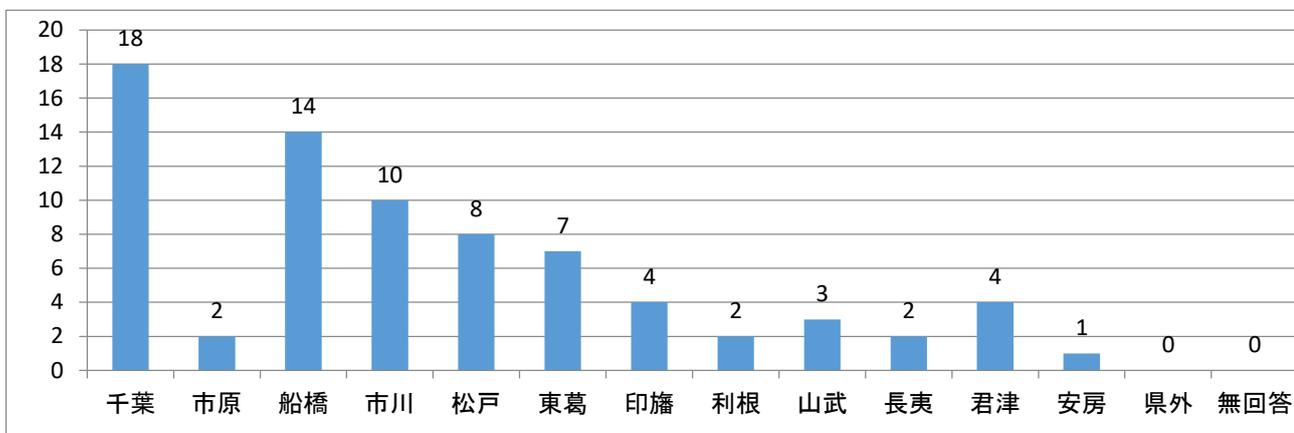


図2 回答者 居住区

### 問3 年齢

年齢は、「40代」が34.7%と最も多く、次いで「30代」26.7%、「50代」22.7%の順であった。

<表3> 年齢 (n=75)

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
0	4	20	26	17	8	0
0.0%	5.3%	26.7%	34.7%	22.7%	10.6%	0.0%

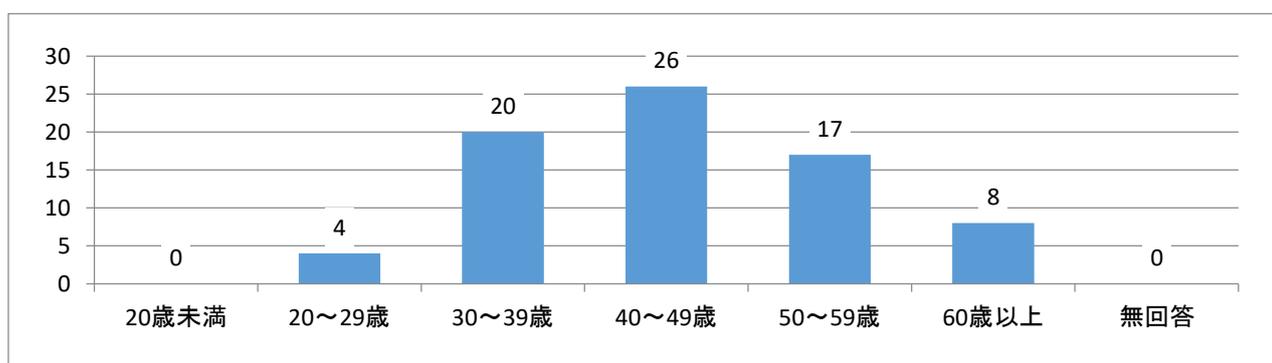


図3 年齢

### 問4 性別

性別は、「女」96.0%、「男」4.0%であった。

<表4> 性別 (n=75)

女	男	無回答
72	3	0
96.0%	4.0%	0.0%

### 問5 離職時の職種

離職時の職種は、「看護師」が最も多く85.3%、次いで「保健師」9.3%、同率で「助産師」2.7%、「准看護師」2.7%の順であった。

<表5> 離職時の職種 (n=75)

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
7	2	64	2	0
9.3%	2.7%	85.3%	2.7%	0.0%

### 問6 離職時の雇用形態

離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く65.3%、次いで「非常勤職員」33.3%、「派遣」1.3%の順であった。

<表6> 離職時の雇用形態 (n=75)

正規職員	非常勤職員	派遣	無回答
49	25	1	0
65.4%	33.3%	1.3%	0.0%

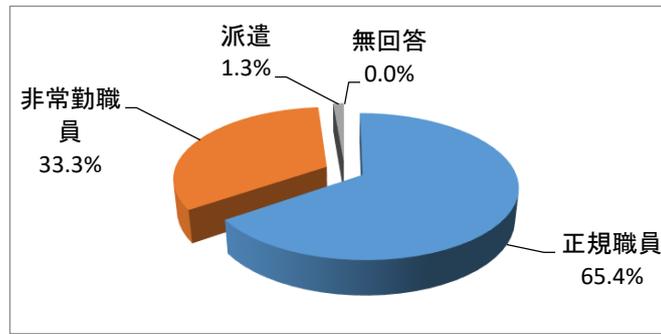


図4 離職時の雇用形態

### 問7 離職時の勤務形態

離職時の勤務形態は「日勤のみ」が最も多く60.0%、次いで「二交代制」26.7%、同率で「三交代制」6.7%、「短時間勤務」6.7%の順であった。

<表7> 離職時の勤務形態 (n=75)

日勤のみ	三交代制	二交代制	短時間勤務	夜勤のみ	無回答
45	5	20	5	0	0
60.0%	6.7%	26.6%	6.7%	0.0%	0.0%

### 問8 看護業務の通算勤務年数

看護業務の通算勤務年数は、「20年以上」が最も多く32.0%、次いで「4年～6年」18.7%、「10年～14年」18.7%、「7年～9年」16.0%の順であった。

<表8> 看護業務の通算勤務年数 (n=75)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
0	4	14	12	14	7	24	0
0.0%	5.3%	18.7%	16.0%	18.7%	9.3%	32.0%	0.0%

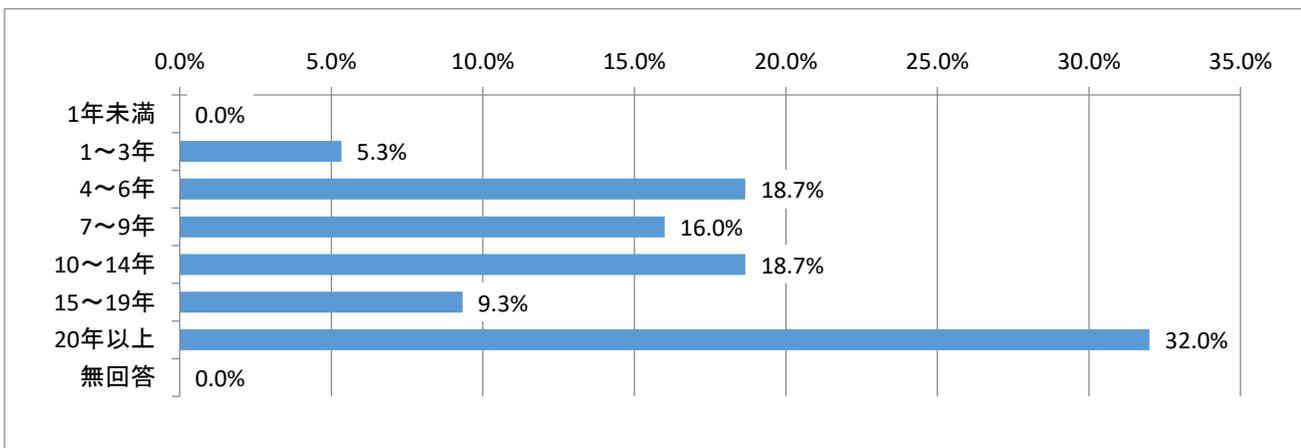


図5 通算勤務年数

### 問9 離職直前の施設での勤務年数

離職直前の施設での勤務年数は、「1～3年」が最も多く25.3%、次いで「4～6年」21.3%、「10年～14年」16.0%の順であった。

<表9> 離職直前の施設での勤務年数 (n=75)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
11	19	16	8	12	5	4	0
14.7%	25.3%	21.3%	10.7%	16.0%	6.7%	5.3%	0.0%

## 問10 離職理由

離職理由は、「人間関係」が最も多く24.0%、次いで同率で「出産育児子供のため」17.3%、「健康上の理由」17.3%であった。

<表10> 離職理由(複数回答・3つまで)

(n = 75)

定年退職	契約期間満了	結婚	出産育児子供のため	配偶者の転勤	老親の世話家族の介護	家事と両立しない	健康上の理由	自分の適正能力への不安	Uターンのため
3	2	8	13	7	8	3	13	11	1
4.0%	2.7%	10.7%	17.3%	9.3%	10.7%	4.0%	17.3%	14.7%	1.3%
通勤困難	転居	他分野への興味	進学	看護職に向いていない	人間関係	看護内容への不満	継続教育がない	賃金への不満	労働時間への不満
3	5	7	1	3	18	11	3	5	5
4.0%	6.7%	9.3%	1.3%	4.0%	24.0%	14.7%	4.0%	6.7%	6.7%
夜勤回数が多 い	残業量が多 い	福利厚生が 十分でない	休みが取 れない	その他	無回答	<b>&lt;その他&gt;</b> ○妊娠を希望していた ○通院との両立が困難 ○他職種へ異動を命じられたため ○サービス残業			
3	3	2	3	7	0				
4.0%	4.0%	2.7%	4.0%	9.3%	0.0%				

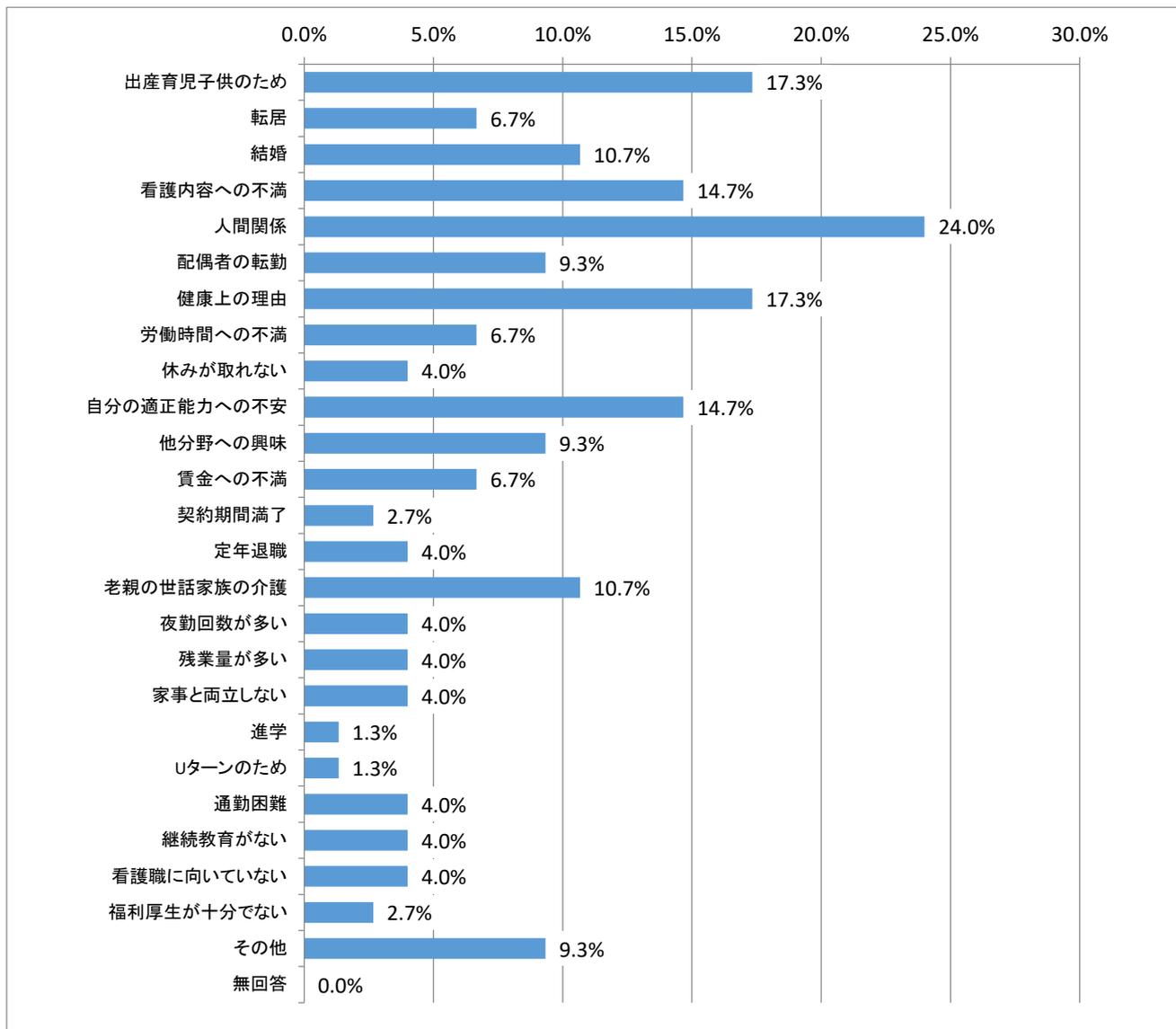


図6 離職理由

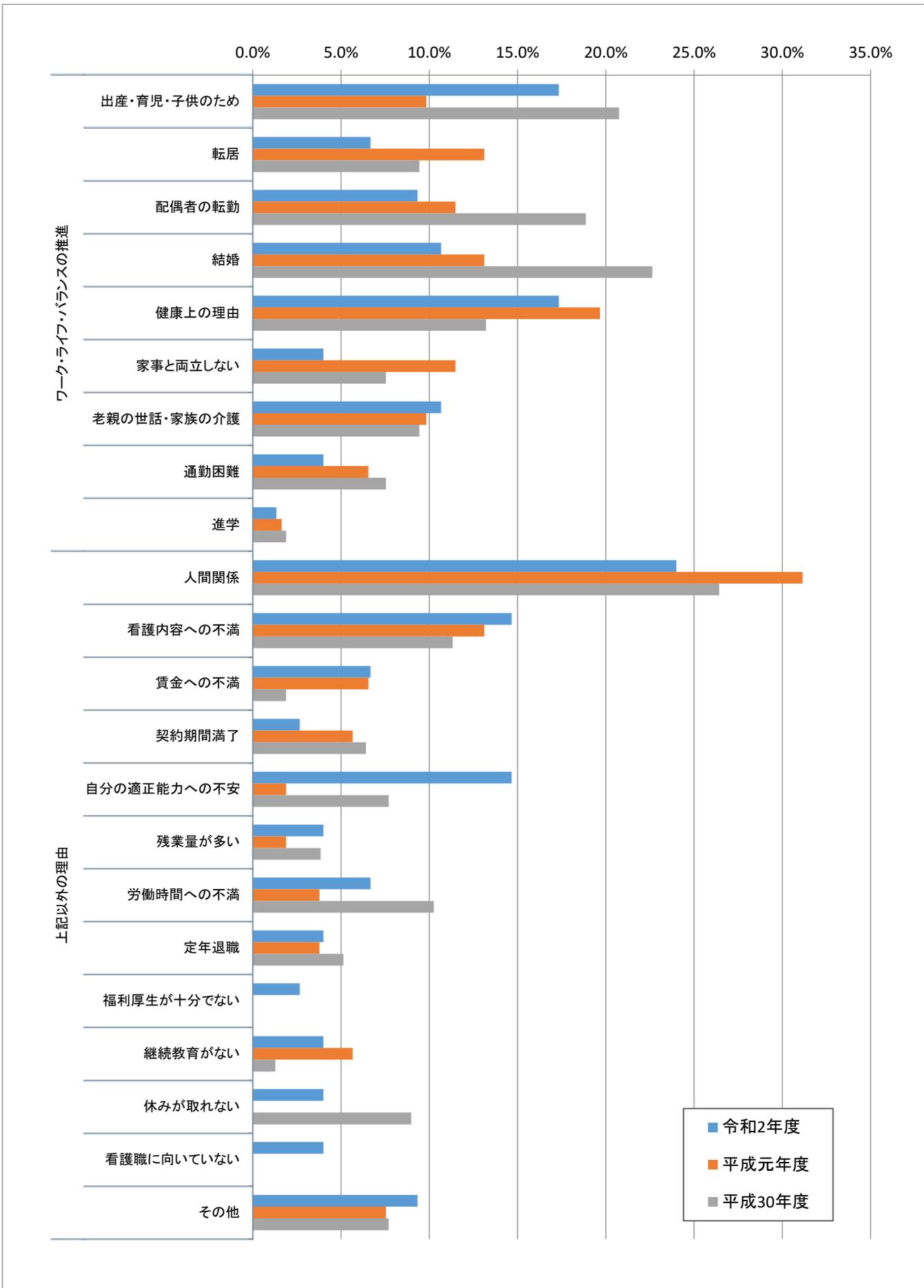


図7 離職理由(3年推移)

問11 人間関係が難しかった相手（問10で選択）

人間関係が難しかった相手を尋ねると、「同僚」が最も多く33.3%、次いで同率で「先輩」22.2%、「医師」22.2%の順であった。

<表11> 人間関係が難しかった相手（複数回答） (n=18)

先輩	同僚	師長等中間管理者	看護管理者	医師	他の専門職	一般職員	患者	患者の家族	その他
4	6	1	2	4	2	1	3	0	1
22.2%	33.3%	5.6%	11.1%	22.2%	11.1%	5.6%	16.7%	0.0%	5.6%

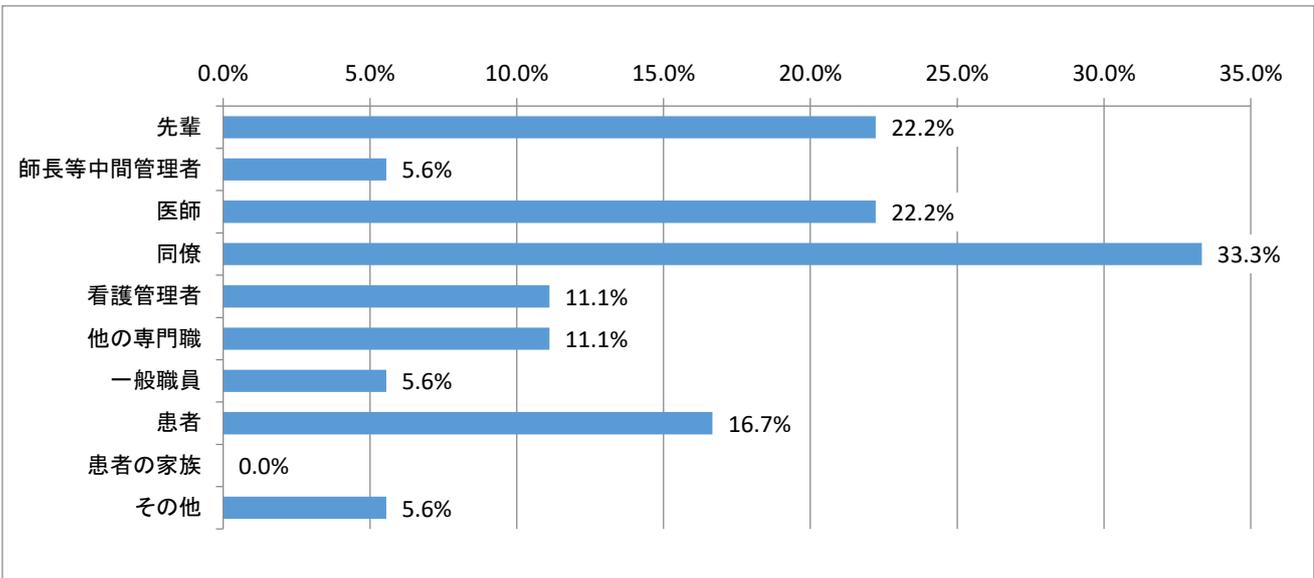


図8 人間関係が難しかった相手

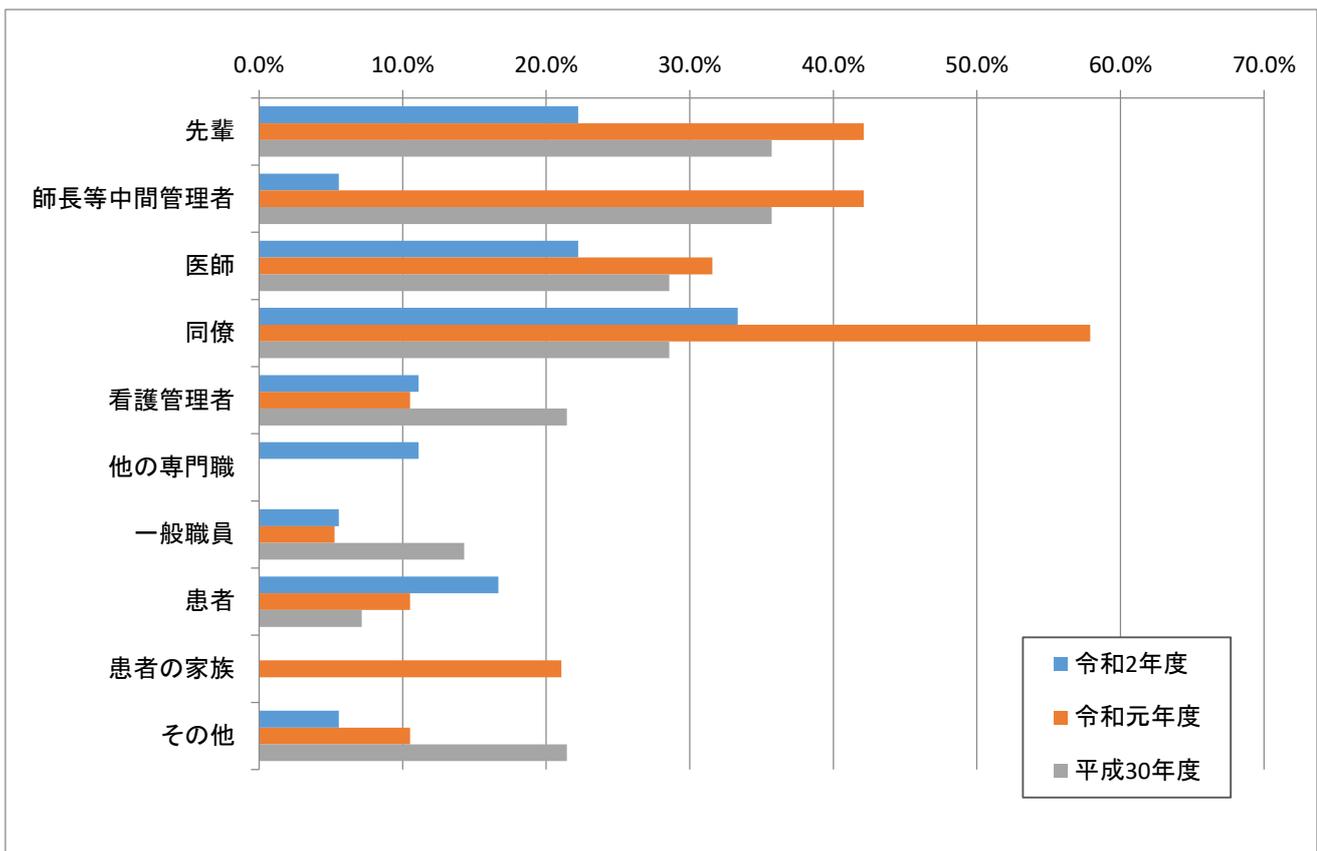


図9 人間関係が難しかった相手(3年推移)

## 問12 「看護内容への不満」の具体的理由（問10で選択）

離職理由を「看護内容への不満」と回答した具体的理由は、「患者とのコミュニケーションに時間が取れない」63.6%が最も多かった。

<表12> 「看護内容への不満」の具体的理由(複数回答)

看護業務以外の仕事が多い	医療処置が多い	患者とのコミュニケーションに時間が取れない	その他	無回答
1	2	7	3	0
9.1%	18.2%	63.6%	27.3%	0.0%

(n= 11)

その他	<input type="radio"/> 古いやり方がずっと続いている
	<input type="radio"/> 保健指導より他の雑務が多い

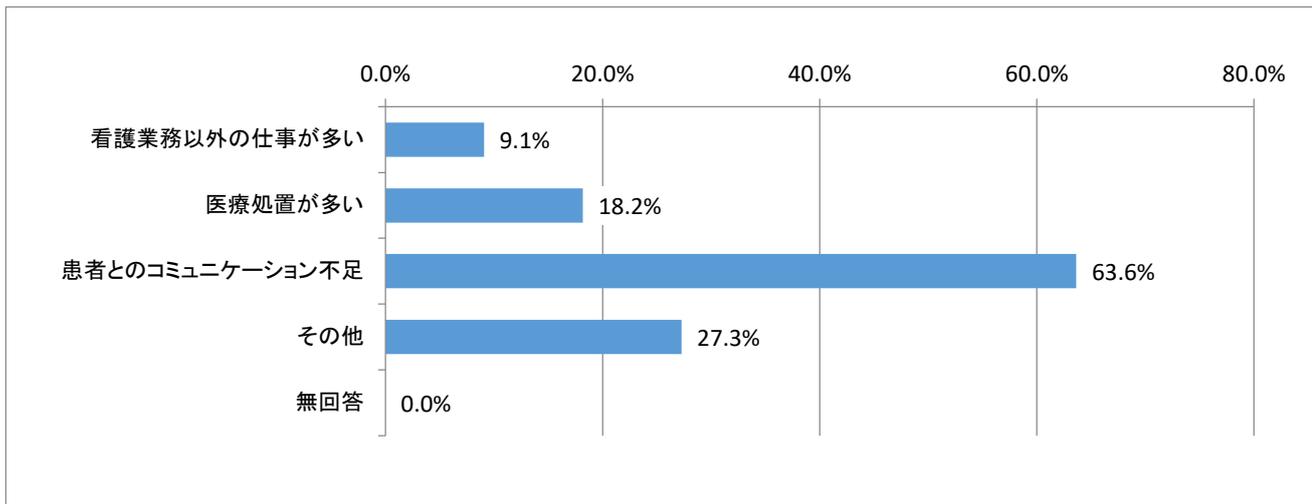


図10 看護内容への不満

## 問13 就業条件

就業条件は、「通勤に便利な職場」が最も多く44.0%、次いで「超過勤務が少ない」41.3%、同率で「休みがとりやすい」38.7%・「柔軟な勤務形態の導入」38.7%の順であった。

<表17> 就業条件(複数回答・主要要件3つまで)

(n= 75)

保育所がある(夜間保育含む)	育児制度が利用できる	介護休暇がとれる	休みがとりやすい	超過勤務が少ない	夜勤回数が少ない	夜勤がない	柔軟な勤務形態の導入	自分の希望する給与	通勤に便利な職場
2	7	5	29	31	9	6	29	13	33
2.7%	9.3%	6.7%	38.7%	41.3%	12.0%	8.0%	38.7%	17.3%	44.0%

看護内容が充実している	自分の能力が活かせる	継続教育が充実している	希望する看護領域である	資格取得支援がある	無回答
8	22	12	24	3	0
10.7%	29.3%	16.0%	32.0%	4.0%	0.0%

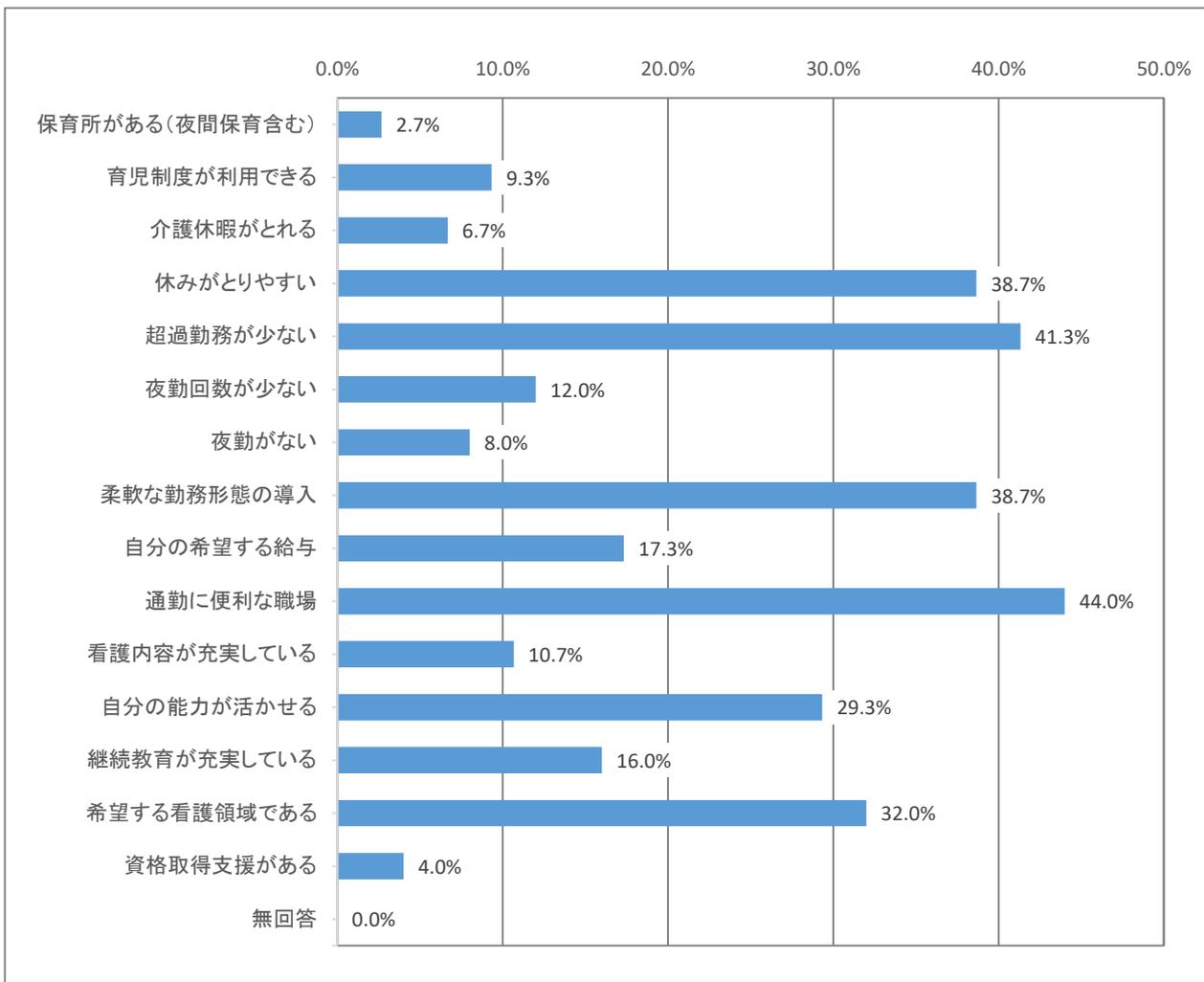


図11 就業条件

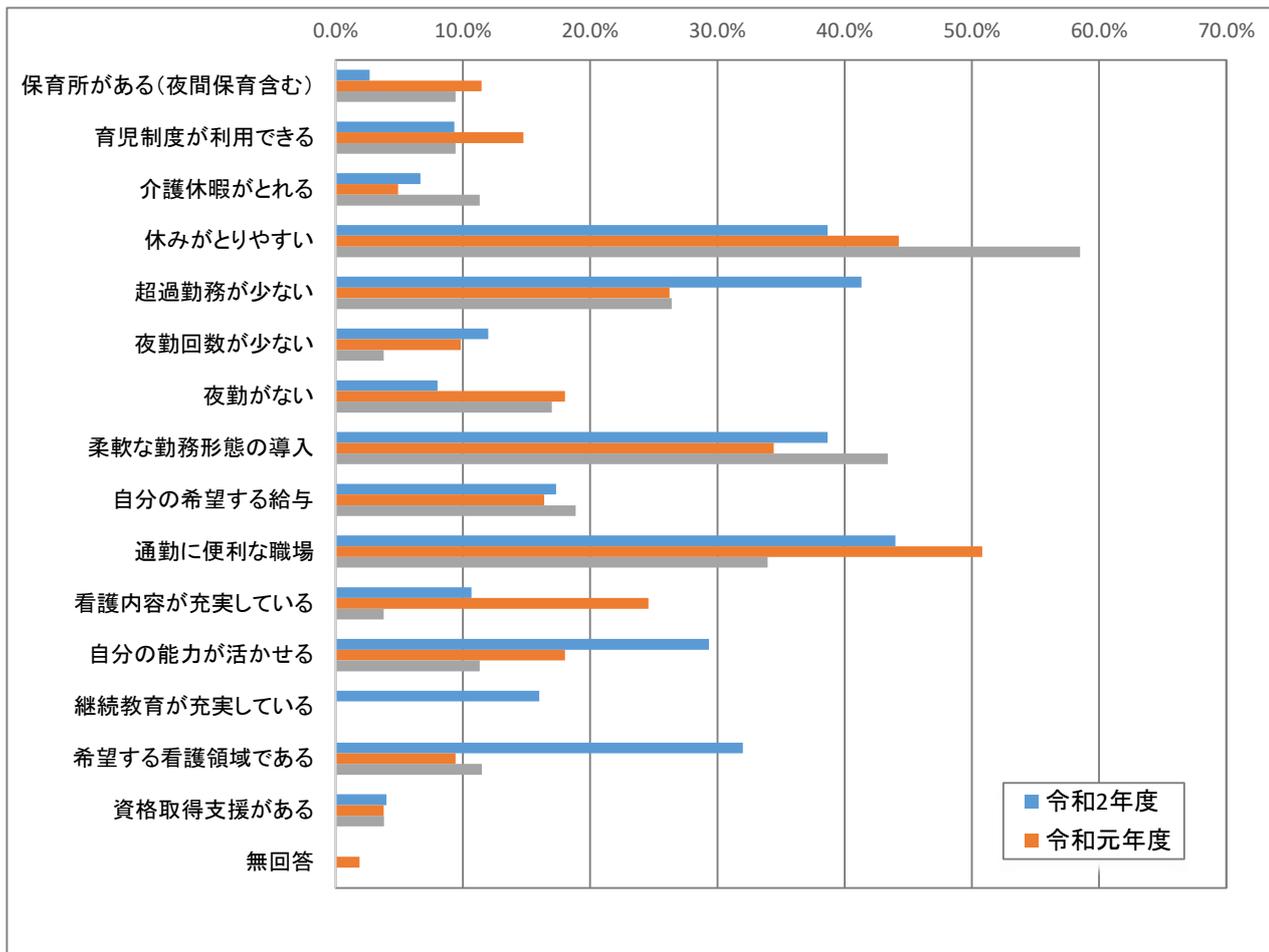


図12 就業条件(3年推移)